

重慶市バイオガス・マイクロダイジェスターCDM事業 キックオフ式典

- 開催日 2009年3月14日 9時30分～
- 開催場所 重慶市開県大徳郷龍王村



キックオフ式典会場風景

PEARでは、重慶市農業委員会の協力の下、重慶市においてバイオガス・マイクロダイジェスター（BMD）CDMプロジェクトの事業化を進めています。

CERsから得られる利益を直接農民に還元するコベネフィット型のCDMにより、重慶市の農家にBMDを設置します。

重慶市開県で、BMD設置費用の一部として1,500元/戸を農家に助成して、756戸の農家にBMDを導入する計画です。そして、開県の事業をプログラムCDMのActivityの第一号として、プログラムCDMの国連登録の作業を進めています。開県の事業をモデルとして、プログラムCDMにより重慶市の農家にBMDを設置して普及する計画です。

農家に支給する助成金は、昨年開催されましたG8北海道洞爺湖サミットのカーボンオフセットの助成金を充てており、発生したクレジットの一部はG8北海道洞爺湖サミットのカーボンオフセットに使用されます。



PEAR 松尾直樹挨拶
(垂れ幕：CDMが農家に入り、農家の老いも若きも喜ぶ)

2008年12月に開県でBMDの建設を開始し、2009年3月14日にキックオフ式典を開催しました。

式典は、重慶市農業委員会 農業生体農村能源処 王国華処長の司会で行われ、重慶市農業委員会高興明副主任、PEAR社松尾直樹、来賓の在重慶日本国総領事館遠山茂首席領事、開県人民政府夏鄭峰副県長の挨拶に続き、PEARと農家代表の調印を行いました。そして、BMDを設置中の農家、BMD建設中の農家の見学を行いました。





在重慶日本国総領事館
遠山茂首席領事祝辞



重慶市農業委員会
高興明副主任挨拶



BMD鍬入れ式



農家の壁に描かれたスローガン
(CDM良いもの、農民の豊かさに欠せない。
CDM良いもの、廃棄物が宝物に変わる。)



PEAR・農家 契約書サイン



CDM第1号農家 張ご夫妻と
ガスコンロ・ガス灯



CDM第1号農家
プレート



ガス温水器とシャワー



建設中のBMD



BMD／穴掘り中



BMD／煉瓦で建設中



BMD／コンクリートで補強



BMD／完成（松尾の足の下）

BMD導入前の農家

ブリケットとコンロ

BMDの設置で、農家にとっては、バイオガスを炊事に使って近代的な生活がおくれ、練炭などの燃料を購入する支出が減ったり、屋内の大気汚染を防止したり、残渣を良質の有機肥料として畑で使ったり多くの便益があります。



サイト概況

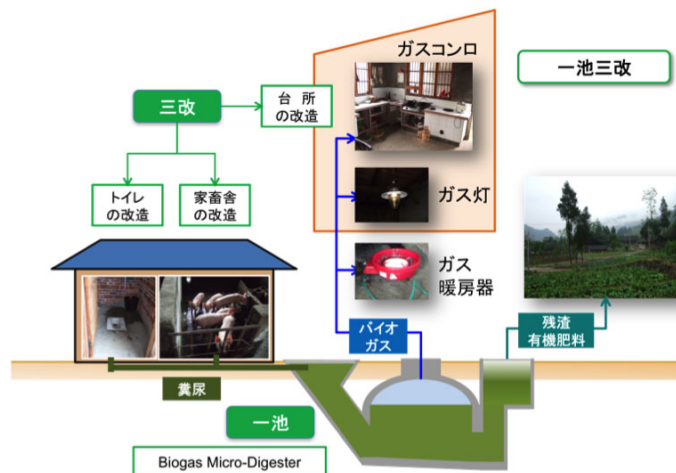
開県は、重慶市中心部から東北へ約310km、高速道路が開通し車で3時間30分の山間部あり、西側は四川省に接しています。大徳郷龍王村は、同県中心部から車両でさらに1時間の山中にあり、住民の大半が農業従事者で、おもな現金収入は出稼ぎです。



★ Project Site

バイオガス・マイクロダイジェスターの紹介

バイオガス・マイクロダイジェスター (Biogas Micro-Digester 以下、BMD) は、農家が飼育している豚・牛・鶏等の糞尿と人糞を発酵させ、バイオガス (CH₄+CO₂) を発生させるタンクです。BMDプロジェクトでは、農家にBMD設置費用の一部を補助して建設し、バイオガスを炊飯、暖房、室内灯に利用します。同時に、トイレ、豚舎、台所の改造も行います。中国では、これを「一池三改」と称しています。次の図を参照してください。



BMDを農家に普及すれば、農家にとっては、バイオガスを炊事に使って近代的な生活がおくれ、石炭などの燃料を購入する支出が減ったり、森林伐採・運搬の過重労働を緩和するなど多くの便益があります。残渣を良質の有機肥料として畑で使えば、化学肥料や農薬の散布量が減り、河川などの水質を改善に貢献し、さらに回虫などの卵がBMDで死滅することにより住民の健康・衛生の向上にも貢献します。また、石炭の代替としてバイオガスを利用することから屋内の大気汚染を防止し、エネルギーの自給率の向上に貢献します。加えて、森林減少につながる非再生可能バイオマスの代替として利用するケースでは、森林伐採を抑制して生態系の保全に貢献します。バイオガスによる持続可能な発展のモデルの好例といえるでしょう。



BMDで発生するバイオガスを炊事などに使えば、今まで使っていた石炭や非再生可能バイオマスを使用せず、また、バイオガスがバイオマス起源でCO₂排出量がゼロであることから、温室効果ガスの排出量を削減し、CDMの対象となるプロジェクトです（主としてCO₂削減です。メタン削減ではありません）。